

## 設立趣旨書

子どもは成長するにつれて、自然や社会、人間に興味や関心を深め、「なぜ?」「どうして?」と、素朴な疑問を抱きます。それは実は根源的な問いでもあります。その「問い」こそ「学び」の源泉です。その「問い」に対して、大学教授やその道の専門家が、子どもたちに分かりやすく授業するのが、子ども大学かまぐら設立趣旨です。子どもたちは、その「学び」を通して、総合的な知識を獲得し、創造力を豊かに育み、夢と希望を抱き、新しい未来社会を構築する力を蓄えていきます。子ども大学は「新しい学びの場」「本当の学びの場」です。

子ども大学は2002年にドイツのチュービンゲン大学で開設され、いまヨーロッパ各地に100校近くあります。日本での第1号は埼玉県川越市に2008（平成20）年秋、NPO法人として設立された「子ども大学かわごえ」です。地域の大学の協力を得て、大学で授業が行われています。それがいま埼玉県全域に広がっています。鎌倉市でも市民がNPO法人を設立して「子ども大学かまぐら」を開設することにしました。対象は小学4年生～6年生です。

講義として、“なぜ”を追求する「はてな学」のほかに、“いかに”生きるかを学ぶキャリア教育「生き方学」、 “どこ”（生活の場）を知る「ふるさと学」も用意します。初年度は鎌倉市の世界遺産登録推進活動に賛同して、子どもたちに故郷の良さを知ってもらう「かまぐら学」の授業を3回行います。その後は、当面2ヵ月に一回授業を行う予定です。

こうした活動は学校教育に新しい風を吹き込むことにもなるでしょう。